

創造的市民による社会づくりと Wellbeingの実現

グローバル化が進む現代において、行政やアカデミア、産業界が一体となって社会のデジタル化が推進され、社会システムの効率性や利便性の向上、地域の持続可能性の向上が図られてきました。

一方で、そのような技術革新による社会変革の方法に代わって、市民が行政に参加し、自らの創意によって、社会づくりやその課題解決をめざす動きが活発になりつつあります。

本シンポジウムでは、そのような創造的市民による社会づくりを支える、理論と実践について議論します。

日時 **2023.1.26** 木 **13:00 - 15:40**
(開場12:00)

主催 日立京大ラボ、京都大学

場所 現地開催（上野イーストタワー）・ライブ配信（Zoomウェビナー）

費用 無料

申込 下記Webサイトよりお申し込みください



<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hqrd/event2/form.jsp>

※定員1,000名に到達次第、締め切らせていただきます。



プログラム [モデレーター] 兼松佳宏（さとのば大学 副学長・NPO グリーンス 理事）

13:00-13:05 開会挨拶 時任 宣博 京都大学 研究・評価担当理事、副学長

基調講演

13:05-13:35 現代文明と日本の将来 佐伯 啓思 京都大学 名誉教授、
人と社会の未来研究院 特任教授

第一部 社会づくりを支える理論と展望

13:35-14:00 「非物質化」に向かう資本主義の新しい形 諸富 徹 京都大学 経済学研究所 教授

14:00-14:25 アジア・アフリカから考える資本主義の未来 長岡 慎介 京都大学 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授

14:25-14:30 休憩（5分）

第二部 社会づくりを支える仕組みと実践

14:30-14:55 WEターン:できることからできなさへ 出口 康夫 京都大学 文学研究科 教授

14:55-15:20 協同社会づくりのプラットフォームと実践 朝 康博 日立製作所 研究開発グループ
基礎研究センタ 日立京大ラボ 研究員

15:20-15:25 休憩（5分）

15:25-15:35 総括 兼松 佳宏 さとのば大学 副学長・NPO グリーンス 理事

15:35-15:40 閉会挨拶 鈴木 教洋 日立製作所 執行役常務 CTO
兼 研究開発グループ長

基調講演



現代文明と日本の将来

今日の世界はグローバリズムの名のもと、西洋発の近代主義に覆われつつあり、日本もそのなかにいる。しかし、この状況は果たして日本人を幸福にするのだろうか、日本の価値観の基軸は西洋のそれとはまた違っているのではなかろうか。世界は本来は多様なものであり、各国の歴史風土や文化の中で政治や経済も機能するはずである。本講演では、西洋の基軸にある価値観と日本のそれを対比し、日本は今日のグローバル近代主義とどう向き合えばよいのかを考えてみたい。



佐伯 啓思

京都大学 名誉教授、
人と社会の未来
研究院 特任教授

[第一部] 社会づくりを支える理論と展望



「非物質化」に向かう資本主義の新しい形

資本主義が21世紀に入って、「非物質化」の方向へ急速に進化している。「デジタル化」はこうした変化の一要素にすぎない。この構造変化の本質を見定めることで、日本企業の産業競争力の低下、経済格差の拡大、温暖化対策の停滞などの課題を理論的かつ包括的に考察することができる。本講演では、資本主義を持続可能で公正なものにする「社会的投資国家」の将来構想の提言と、企業への期待について論じる。



諸富 徹

京都大学
経済学研究科 教授



アジア・アフリカから考える資本主義の未来

21世紀のアジア・アフリカ地域では、従来の西洋型資本主義とは異なる独自のパラダイムにもとづく新しい経済のあり方を模索する動きが活発化している。そうした取り組みは、私たちが抱える様々な課題を解決するための重要なヒントを与えてくれている。本講演では、同地域における先駆的な試みを紹介しながら、そこから私たちが何を学ぶことができるかを考えてみたい。



長岡 慎介

京都大学
アジア・アフリカ
地域研究研究科 教授

[第二部] 社会づくりを支える仕組みと実践



WEターン:できることからできなさへ

I(わたし・個人)の「できること」の増強ではなく、WE(われわれ・共同体)の絆を深め、それを活性化することに主眼を置くスマート化・DX化を志向する、日立京大ラボと京大哲学系による「スマートWE」プロジェクトが、JSPSとJSTの支援を受け、本年度からスタートした。本発表はこのプロジェクトが目指す社会ビジョンを示す。



出口 康夫

京都大学
文学研究科 教授



協同社会づくりのプラットフォームと実践

民主主義のDX化が進展する中で、日立京大ラボでは、地域やコミュニティの市民一人一人がその影響力を発揮できる参加型の社会づくりをめざしている。本講演では、そのような協同社会づくりに向けたプラットフォーム(Social Co-OS)と、それを実現するための合意形成支援技術について論じるとともに、実用面など今後の展望について、フィールドでの実践例を踏まえつつ議論する。



朝 康博

日立製作所
研究開発グループ
基礎研究センタ
日立京大ラボ 研究員